

新たな見どころ



■ 省エネ・低炭素の期待を背負って台南園區の行政ビル屋上に設置された太陽光発電システム（2012.01.10）

台南園區の行政ビル屋上に設置した太陽光発電システムを起用

台南園區行政ビルの太陽光発電システムは、鋼鉄製の発電システム架台（可動式）に建材一体型 BIPV の透光式シリコン太陽電池（12kWp）と透光式非シリコン薄膜太陽電池（6.2kWp）のパネルを装着したもので総容量は 18.2kWp、設置後の一日当りの発電量は約 54.6kWp となっています。これは毎日約 33.4Kg の二酸化炭素排出を削減している計算で、省エネ・低炭素の目標達成に貢献しています。

高雄汚水処理場第一期第二段階工事が完了 生態環境を保護

高雄園區汚水処理場第一期第二段階の工事が 4 月 16 日に完了し、汚水処理能力がアップしました。主な内容は、電気設備工事による処理能力拡充（22500CMD）、処理施設の改良、除臭設備の機能向上による揮発性有機化合物（VOC）除去の徹底などです。また、園内の水処理にかかる負担を軽減して工場の正常な操業をより確実なものにするため、放流口を土庫溪の脇に移転させました。



■ 高雄園區汚水処理場第一期第二段階工事が完了（2012.04.16）